



# 五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

5月

## 土泥



蛇口を手で押さえて、水のいきおいを楽しんでいる。  
←水たまりを見つけて、裸足になって中に入る子ども達。



山の上からホースで水をかけ、すべりやすい状態になったことに気づき、バランスをとるようになった。



↑土を集めて入れた容器に、水を足して、わりながら好きな柔らかさの泥んこを作っている。



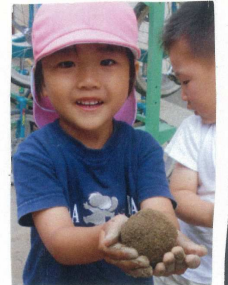
←初めて泥にパルに入る新入園児。保育士が抱っこしながら足をバシバシやつけると、喜んで入っていくことができた。



→泥水をすくっては入れ物に入れ、こぼして、水の流れてを見て楽しんでいる。



↑構ぞ土山を掘り、土を集めてあそんでいる。



「ほら！おっきな団子だね」

## 植物・情感体験

・山中を探険隊になりに進み、竹の子を探しに行く。



・カラケ竹をカッパい押しして、折ッ竹からとる。



・くちなしの花で作った風車に息を吹きかけて、回すのに挑戦。



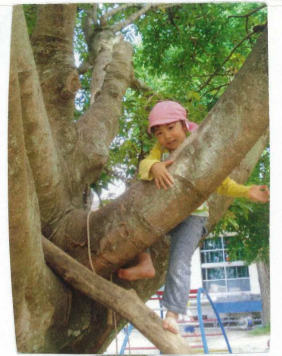
↑竹林の中をどんどん進んで行って、竹の子を探す子どもたち。

「ほら！あつたー！」

↑とってきた竹の子の皮むき。皮の中身がどうなっているか興味津々。



↑おじさんに教えてもらいながら、つわの葉に棒をさして、帽子作り。



↑木登りに挑戦。

一人の男の子が登れるようになると、その光景に憧れて、木登りに挑戦しようとする子どもたち。